

【沖縄キャンプ実施ガイドラインのご提案】

作成日: 2020/07/27
キャンプ沖縄事業協同組合

◆基本の5-7ルール

・出発前に現地の状況を調べる

新型コロナウイルス感染予防のために、キャンプ可能なビーチが閉鎖されている可能性があります。地域住民に迷惑とならないよう配慮が必要です。

・身近なフィールドで過ごす

コロナウイルス感染予防の観点以外にも、ビーチが焚火や放置ごみで汚されてキャンプをよく思わない地域の方も多くいます。しっかりとしたキャンプ場を利用するよう心がけましょう。もし無料開放の場所を利用する場合は、必ずビーチクリーンなど環境保護のためのプログラムを盛り込みましょう。

・安全第一で行動する

けがや事故防止のため普段よりも慎重に行動し、楽観的な行動は控えましょう。

リスクの少ない行動を心がけるとともに、万が一のために近隣の病院などの確認等、事前に確認をしてください。また緊急連絡先の確保も行いましょう。

・自然にダメージを残さない

山や海、川などの自然に配慮し、フィールドを管理するスタッフや地域社会に敬意を払いましょう。持ち込んだものは全て持ち帰り、ゴミやダメージは残さないこと。焚火も直火ではなく焚火台を利用するなど配慮しましょう。

・健康に気を付ける

熱中症、食中毒のリスクが特に夏は上がる。各自対策をお願いします。

○沖縄キャンプのtips

- ビーチでの砂や貝の持ち帰りは法律上、禁止されています。
- 基本的にはキャンプ場の利用を勧めます。第三者のキャンプ場を交えることで注意や留意点を旅行者へ共有しやすくなり、管理責任などのリスク軽減になります。
- いちやんだビーチとは、沖縄で管理業者が介在・常駐していない等、自然のビーチのことを言います。利用の際には上記ルールも踏まえてくれぐれもご注意ください。
- 火を焚く際には、直火ではなく焚き火台の利用をお願いします。アウトドアショップやホームセンター等でお求めになれます。
- 沖縄は日本一日照時間が短い県です。雨天・荒天が予想される場合の対応も想定しておきましょう。
- 地元企業やそのキャンプ先近隣のスーパーでの買い出しは、地域のためになり、旅行者にとってもローカルを知れて楽しいものです。